

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて

精神科病院に入院している方(住所が愛西市) の状況

2021年6月30日時点で入院している方

病院住所	入院期間			合計
	3カ月未満	3カ月以上 1年未満	1年以上	
愛知県 稲沢市	8	3	22	33
愛知県 あま市	4	6	21	31
愛知県 名古屋市中川区	2	1	6	9
愛知県 名古屋市中村区		1	5	6
愛知県 名古屋守山区	1	1	2	4
愛知県 一宮市	1		3	4
愛知県 南知多町			2	2
愛知県 名古屋市中白区	1		1	2
愛知県 名古屋市中北区			1	1
愛知県 名古屋市中千種区			1	1
愛知県 東郷町			1	1
愛知県 江南市			1	1
愛知県 犬山市	1			1
三重県 東員町			1	1
三重県 津市			1	1
岐阜県大垣市		1		1
岐阜県海津市	1			1
合計	19	13	68	100

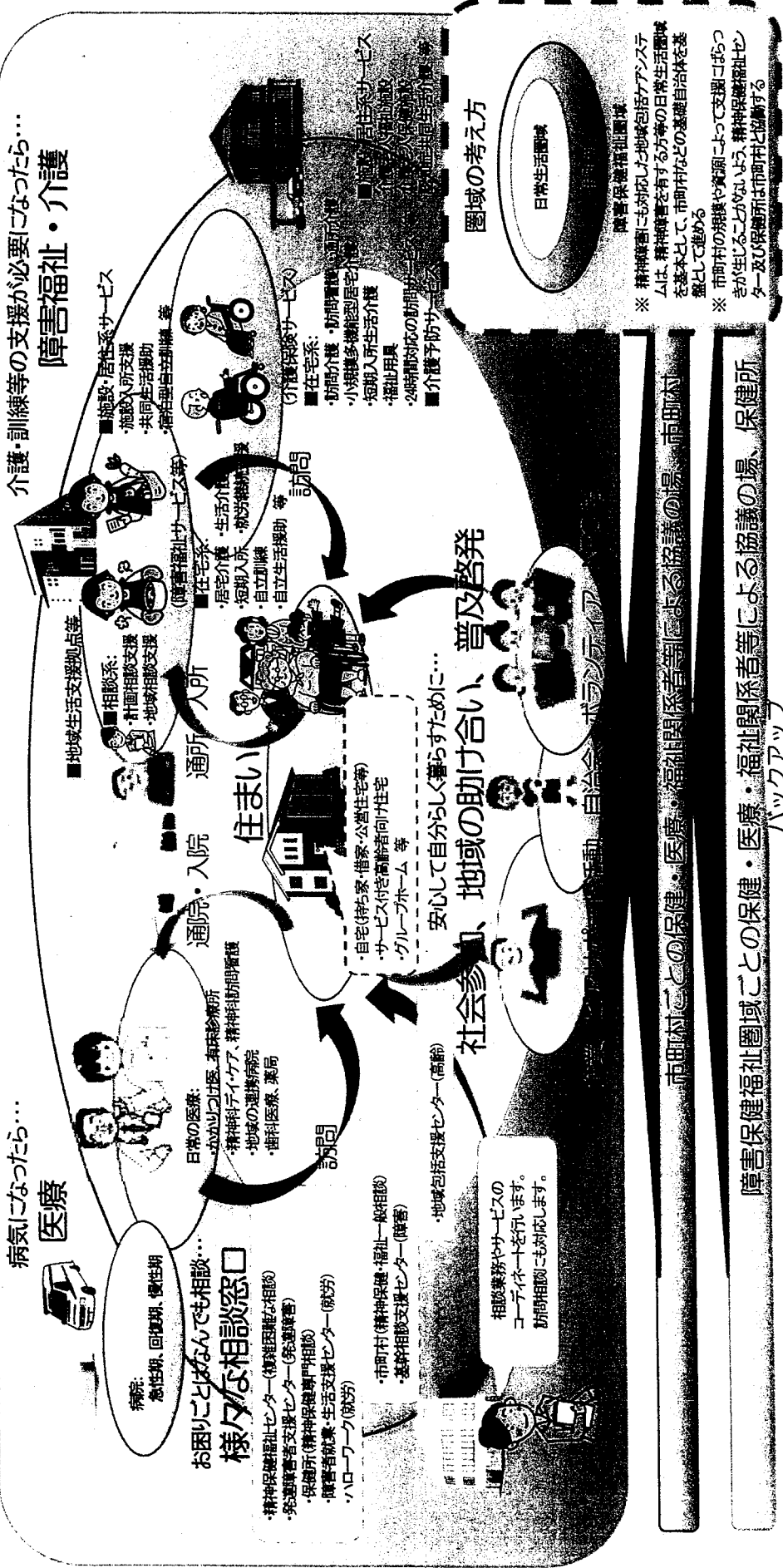
2021年6月に退院された方

病院住所	入院期間			合計
	3カ月未満	3カ月以上 1年未満	1年以上	
愛知県 稲沢市	1			1
愛知県 名古屋市中川区	1	1		2
愛知県 名古屋市中千種区	1			1
合計	3	1	0	4

出典：ReMHRAD（地域精神保健医療福祉社会資源分析データベース）

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（イメージ）

- 精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労など）、地域の助け合い、普及啓発（教育など）が包括的に確保された精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指す必要がある、同システムは地域共生社会の実現に向かっていく上では欠かせないものである。
- このような精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっては、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障害福祉・介護事業者が、精神障害の有無や程度によらず地域生活に関する相談に対応できるように、市町村ごとの保健・医療・福祉関係者等による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、当事者・ピアサポーター、家族、居住支援関係者などの重層的な連携による支援体制を構築していくことが必要。



都道府県ごとの保健・医療・福祉関係者等による協議の場、都道府県本庁・精神保健福祉センター・発達障害者支援センター